

子ども教育支援センター事業

教育相談センター・教育メディアセンター・教育研修センター・教科書センターの機能を有する子ども教育支援センター（川谷会館。元教育委員長の川谷トセ氏の寄付を原資に、美加の台小学校内に開設した施設）が中心となって、それぞれの機能を活かした事業を展開した。

1. 子ども教育支援センター事業

教育研修センターとして、センター職員が学校や教職員の指導助言（280回 各学校への派遣分を含む）にあたった。

教育メディアセンターとして、授業におけるインターネット、コンピュータ活用の推進を図るため、情報教育アドバイザー（学校園の機器操作法の研修や支援、保守(修理)依頼を要しないトラブル対応などを行う）を市内全小中学校に派遣（各学校：750回 外国との交流等TV会議：180回）した。

2. 子ども教育支援振興基金

寄附金を子ども教育支援振興基金に積み立てた。運用利子は子ども教育支援センター事業に充当した。

区 分	金 額(円)	説 明
平成26年度末基金現在高①	59,033,886	
平成27年度積立額②	6,393,000	寄附金478件
平成27年度末基金現在高①+②	65,426,886	
平成27年度運用利子収入	263,343	子ども教育支援センター事業に充当

3. 教育相談センター事業

問題行動や不登校等が全国的に増加する中で、これら諸問題の解決を図り、青少年の健全育成に資するため、専門相談員を配置し教育相談センターの運営を行った。

<相談方法>

電 話	来 談	合 計
延べ24回	延べ7回	延べ31回

<相談対象件数>

幼児	小学生	中学生	高校生	その他	合 計
0件	延べ18件	延べ6件	1件	延べ6件	延べ31件

<相談内容回数>

不登校	いじめ	けんか	校内暴力	家庭内暴力	学 習	合 計
延べ11回	延べ4回	0回	0回	0回	0回	
進 路	友人関係	異性関係	生活全般	生活指導	その他	延べ31回
1回	2回	1回	1回	1回	延べ12回	

青少年の進路選択支援にかかる相談事業は、河内長野市人権協会に委託し実施（延べ44件）した。

4. 適応指導教室事業

不登校児童・生徒のために、適応指導教室（ゆう☆ゆうスペース）を開設し、学校復帰ができるよう援助し、2名が学校復帰した。